

◎臍立丈出來た病院計劃

◆土地の人が思ひ切り奮發せれば
◆他から来る金も集らぬが理の當然

◆本日發起委員會開催 ◆署を取る前に寄附募集中の難

在留邦人間に始めての大計画なる
病院設立の議は愈々今廿五日午後
三時から在光日會内に發起委員會
開催され、シドニー總領事外十九名の
委員会、實行委員長の永島氏が、

委員会、實行委員長の永島氏が、
ふと今日までの調査の結果報告あり
大いに協議に移る傍だが昨日本問
題の爲め萬事拵御

盡瘁中なる永島氏を訪
ふと機上堆积設計書や新築構
圖案、猪子は病院に関する参考雜
誌書、醫療機械、附屬雜品一
切の見積書などを積み上げ、忙中を
執るだけだ。

▼然し其の前に金を集め
るといふ雜物がある、これを片附
けるのは今後の問題だが自分さ
れかから捕つた勝を前にし署を

執るだけだ、
創いて本日の設立發起會に於
告の準備をして居る。曰く「何う
ら必要な調査は全部出来上づか
ら之れから捕つた勝を前にし署を

思ふ、新築費だけでも繋つた金
が入る、況んや家屋を造った丈け
では何にもならぬ、

者各々自分自身の問題とし奮
て資金の應募に努めて貢ひたいと
思ふ、新築費だけでも繋つた金
が入る、況んや家屋を造った丈け
では何にもならぬ、

何れも同感だらうと思ふが、在留
邦人の問題とし奮つて貢ひたいと
思ふ、新築費だけでも繋つた金
が入る、況んや家屋を造った丈け
では何にもならぬ、

に遣つて置

ふと可きことであつたのだ、從つて

今回の流行病で病院不足其他から

悲惨極まる事實を耳にした諸子は

悲惨極まる事実を耳にした諸子は

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

の爲め戰時中

に多額輸出して

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

の爲め戰時中

に多額輸出して

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

の爲め戰時中

に多額輸出して

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

の爲め戰時中

に多額輸出して

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

の爲め戰時中

に多額輸出して

新室素會社用務

奔走の住友重役

湯川寛吉氏再び日本

支店支配人今村幸男氏外一名を同

会社より特許

宇斐リ著エモントホテ

潜米の用務は

三井三菱、三共等の大會社

共同創立事業を開始するこ

の如く明後廿七日午前八時

午前九時小切

代付報の如く

日本四十億位の處智

利確石の輸出が急に激増した爲め

ルに投宿の筈なるが同氏が今日迄

潜米の春洋九で渡米した住友銀行

當務取締役湯川寛吉氏は同行紹介

大谷船長は語るやう「戰爭終結

ロスアンゼルス (廿三日)

新日本銀行
サンビードロ方面
サン・アナンダード平原
サンビードロ港方面は、ウイルミング
ドン及びタミナル在住の漁業家を
を加へ非常に多數に達し居れる上
に山の手の農業家を加へれば、殊に
同胞の數既に三千人と稱せらる
にフィッシング、バーベーの漁業家住
居区域に於ける事業經營者の增加
等は極に獨立せる日本人會を設立する
するの實力を有し居りて既に羅府
日會より離れて新日會を設立する
の運動起れる由なるが茲に問題す
ならん次は、
▲サン・アナンダード平原は羅府を設立
なるは同港はロサンゼルス市の
一部なる事にて一市内に二個の日
會設立を許すべき研究の題目と
至るならんとの事なれば、本年度
増となり在住者約千五百人に達し
る様なれば之も一昨年獨立
したるサン・アナンダード平原の如く何
れ近く漸に日本人會の設立を見る
に至るを可からざるの状勢にありて尙ほ
之れ以外にポートロサンゼルス市
及びニース、ハーレ、サンタモニカ
カ方面を一圓でせる新日會設立の
氣運もありと云ふ

洋貿易を目的とした組織である。その運営は、主に日本と大英帝国との間で行われた。この組織は、1850年頃から活動を開始し、1860年代には、既に世界規模の貿易網を構築していた。しかし、明治維新後、日本の開港場が増加したことで、この組織の影響力は急速に弱化した。その後、1880年代には、この組織は完全に解体された。

富子書店一郎文社室五九五仙の三編十一仙世然を人風粧を紅いに豈に恩澤は大泡其の脅骨は限民の本書は能の三浦の所なつて現の眞に仙の本を負はる大泡其の脅骨は限民の本書は能の三浦の所なつて現の眞に仙の本を負はるノル太郎テル内

新支みか苗田産院法律事務所
街一二九、市伊太利銀座、公認内務省登録
イ街九一一、自用自業、保証致し
トノト苗、誠益金庫、藤井、布市一
八年間布都、しジョー、及レ申往の爲
羅府商店、同電話、クレジット
3412 E. First St.,
Los Angeles, Cal.
府東一家、新
保養老保險
ユーヨーク生
人浴原料
自宅温泉
代價一箱
電話エフ
羅府東
シドリ港
二十六
國
支

加州
市部
布市
電報
會社
備完全
院院
市
922 E. S.
1110
Los Angeles (

行前二前半志耶五郎前日午前一トド・前院店会他手紙面旋

人郎 松ル助松郎即大 乍御く香不倒 即即百取即松一即即義即十即宋作已即 禮處は萬々名 申答に御節儀 大即即百八百雅即百即 厚の奉甚忙

